

第5次勝山市総合計画基本構想および基本計画に係るパブリック・コメント手続による意見とそれに対する市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方	修正内容
1	<p>○左義長まつりの振興とまちづくりについて</p> <p>左義長まつりの可能性を考えれば狭い意味での「観光」の視点からでも、もっと大きな位置付けに据えるべきではないかと考えます。左義長まつりを「勝山市民の祭り」に仕上げていくような動きを出していくこと、左義長まつりの振興を中心市街地のテーマに据えること、さらには左義長を商店街活性化にもつなげる、など、「勝山左義長」をもっと前面に打ち出した計画にしていってはどうかと考えます。</p>	<p>県指定無形民俗文化財である「勝山左義長」は、ふるさと勝山にとって貴重な資源であることは疑いありません。</p> <p>この民俗行事は、地域の人たちによって300年以上にわたって守り受け継がれてきた歴史と伝統があり、また、現在も地域の人たちの尽力によって開催されています。こうした歴史と伝統を基軸に置きながら、より多くの市民、また観光客に愛されるよう、行政としてもこの民俗行事を盛りたてていきたいと考えます。</p>	<p>●修正なし</p>
2	<p>○「まちづくり会社」および道の駅について</p> <p>この表現だと、10年かけてまちづくり会社の設立準備をしたり、道の駅の位置を選定したりするようにとられます。現在の情勢を考えれば、この二つは10年後には軌道に乗っていることを想定するべきものだと思います。</p> <p>この二つの項目についても、他の項目のように設立、とか、設置、という表現、あるいはさらに踏み込んだ表現にしておくべきかと思えます。</p>	<p>ご指摘のとおり、多種多様な観光資源を有機的にネットワーク化し、さらなる観光振興を図るためには、新たな仕組みづくり(例 自立した「まちづくり会社」の設立)を、スピード感を持って検討していくことが必要と考えます。</p> <p>また、「道の駅」については、民間主導型、行政主導型等さまざまな運営形態があります。関係機関・団体、さらに事業者、生産者の皆さんとともに、勝山にマッチした「道の駅」を検討していきます。</p>	<p>●重点項目を、 ・自立した「まちづくり会社」の設立 ・「道の駅」の設置検討 に、それぞれ修正する。</p>
3	<p>○「越前大仏」について</p> <p>「越前大仏」については、P44の重点項目において連携による誘客促進と触れられています。</p> <p>勝山市として、越前大仏の位置づけをどう考えるか、どのように振興し、まちづくりに結びつけるかについて、もう少し踏み込んで計画に加えていくべきものではないかと考えます。よろしくご検討をお願いします。</p>	<p>越前大仏は、勝山の重要な観光資源のひとつと考えます。ただし、越前大仏自体は宗教法人の所有であり、行政が直接支援等をするのは困難です。</p> <p>そこで、平成22年度に「越前大仏門前町活性化協議会」と連携し、門前町周辺を会場とした複数のイベントを同時開催したところ、多くの来場者でにぎわいました。今後もこうしたイベントを継続的に開催していく中で、門前町周辺の活性化、再生の方向性を探っていきたいと考えます。</p>	<p>●5. 観光の振興「(2)イベントや環境整備による賑わいの創出」の基本的な考え方の中に、「重要な観光資源のひとつである越前大仏や、貴重な歴史資料を収蔵している勝山城博物館への誘客を促進するとともに、越前大仏門前町を活用した賑わいの創出を図ります。」との一文を追加する。</p> <p>●重点項目に、「越前大仏門前町におけるイベントの充実」を追加する。</p>
4	<p>ここが良い、あそこが悪い等と細かには指定できないが、若者の定住促進、高齢者にやさしい環境整備、恐竜や自然などの観光資源を生かした街づくり、どれもぜひ実現してもらいたい。</p>	<p>まちづくりを進めるにあたって、ご指摘の項目は全て、しっかりと取り組むべき政策課題であると考えます。</p> <p>この総合計画(案)では、全市民アンケートや地区別座談会等での市民から出された意見、要望をふまえ、勝山市が実現すべき政策課題、取り組むべき方向性を6つの視点で整理しています。行政分野の枠を超えて横断的に政策を展開することで、これらの政策課題の実現に向けて効果的にアプローチしていきたいと考えます。</p>	<p>●修正なし</p>